

事例報告 信州大学 研究者総覧と機関リポジトリ連携

jpcoar WEBINAR

2025年7月16日

第1回「研究業績データベースと機関リポジトリ」

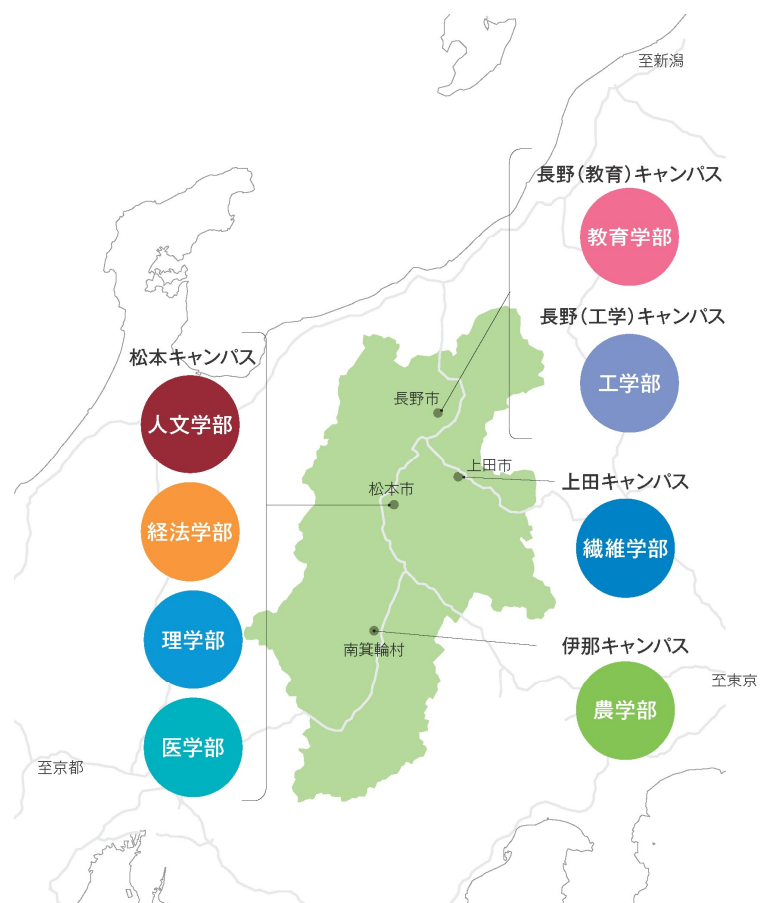
信州大学附属図書館 徳永澄子



事例報告の内容

1. 信州大学の研究者総覧と機関リポジトリについて
2. オープンアクセス加速化事業での取り組み
3. 研究者総覧の機能追加
4. 今後の展望

信州大学の概要



5キャンパス・8学部 of 総合大学

(教員約1,100名、
大学院生約2,000名、学部生約8,000名)

6図書館



1. 信州大学の研究者総覧と 機関リポジトリについて

信州大学学術情報オンラインシステム **SOAR**(ソアー)
(**S**hinshu University **O**nline System of General **A**cademic **R**esources)
<https://www.shinshu-u.ac.jp/soar/>



信州大学研究者のプロ
フィール、研究教育諸活動を
広く公開する



信州大学研究者の研究成
果(論文等のフルテキス
ト)を収録・**無料公開**

先生方の情報を発信
研究者総覧



相互にリンク



機関リポジトリ
研究成果(論文等)を
全文公開

研究者総覧

研究活動情報

基本情報 ▾ | 研究活動情報 ▾

受賞

- 2008年
上野五月記念日本文化研究奨励基金, 平成19年度研究奨励賞

論文

- 奥州の学僧 純瑜が記した書物－寺院の「蔵書」から考える－
渡辺匡一
日本文学, 7070(4), 44-49, 2021年04月10日
- 寺院資料調査と文学研究
渡辺匡一
仏教文学, (42), 4, 2017年04月30日, 査読有り [FULL TEXT / SOAR](#)
- ハナム社会科学院蔵・旧フナバシ学院蔵日本書院蔵の経典報告と表紙資料の付録について
渡辺匡一
リテラシー史研究, (10), 19, 2017年01月20日
- 『涅槃像考文抄』涅槃像一座談』翻刻とその紹介（その二）
人文科学論集文化コミュニケーション学科編, 42, pp.145-154, 2008年03月 [FULL TEXT / SOAR](#)
- 法の道を伝える僧侶たち
佛法紹隆寺開創千二百年記念誌, pp.341-378, 2006年11月

すべて表示する

相互にリンク

機関リポジトリ

010 人文学部, 大学院人文科学研究科 / 0101 学術論文

寺院資料調査と文学研究

<http://hdl.handle.net/10091/00021117>

名前 / ファイル	ライセンス	アクション
 bukkyobungaku42_4 (514.4 kB)		ダウンロード Information

Item type	学術雑誌論文 / Journal Article(1)
公開日	2019-01-29
タイトル	
タイトル	寺院資料調査と文学研究
言語	
言語	jpn
資源タイプ	
資源	http://purl.org/coar/resource_type/c_6501
タイプ	journal article
著者	渡辺, 匡一

信州大学研究者総覧へのリンク

氏名	渡辺, 匡一
URL	http://soar-rd.shinshu-u.ac.jp/profile/ja.HUnNPakF.html

2.オープンアクセス加速化事業 での取り組み

信州大学のOA加速化事業での取り組み

研究者総覧改修によりOAを負担少なく推進

研究者総覧改修

- ・ リポジトリとの連携機能強化により、論文・研究データ公開を容易に

APC支援

- ・ 著者は一定額のみ負担でOA投稿を可能に
(転換契約で実施している内容を他社にも拡張)

研究者向けセミナー

- ・ FD
- ・ 英語論文執筆セミナー
- ・ オンデマンド講習ツール
- ・ OAに関する情報周知

研究支援サイト充実

- ・ 助成金情報・OA支援等、必要な情報を一元入手

研究広報の強化

- ・ 信州大学の研究成果を分かりやすく発信(OA論文へのリンク等も含む)するサイトの公開

その他

- ・ 図書館業務用PCの更新
- ・ 情報収集等のための出張ほか

研究者総覧の周辺の状況

学校教育法施行規則の改正(平成23年)
大学等の教育情報の公表が義務化。本学は研究者総覧で「各教員が有する学位及び業績」を公表。

科研費の審査では、審査委員がresearchmapの掲載情報を必要に応じて参照(平成31年)

研究者総覧とresearchmap両方の更新が必要

researchmapとのデータ連携の重要性が増す



大学や部局が分析・各種申請するため、論文数の情報として、業績情報を提出

教員業績評価のための業績情報の提出

研究者は何度も業績情報の提出を求められる

研究者総覧に入力された業績情報の活用

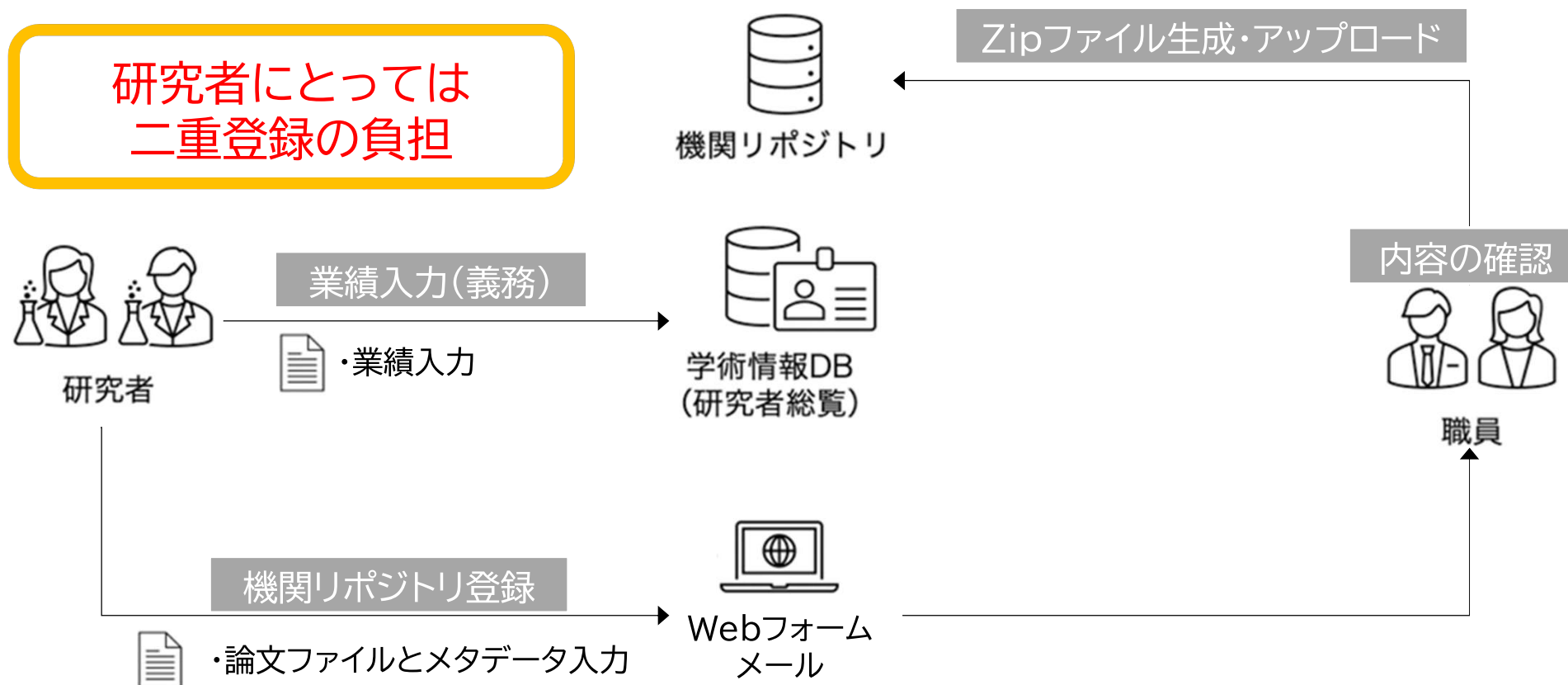
研究者総覧の更新に集約＝研究者の負担軽減

新たな課題：公的研究費による研究成果の公開の義務化

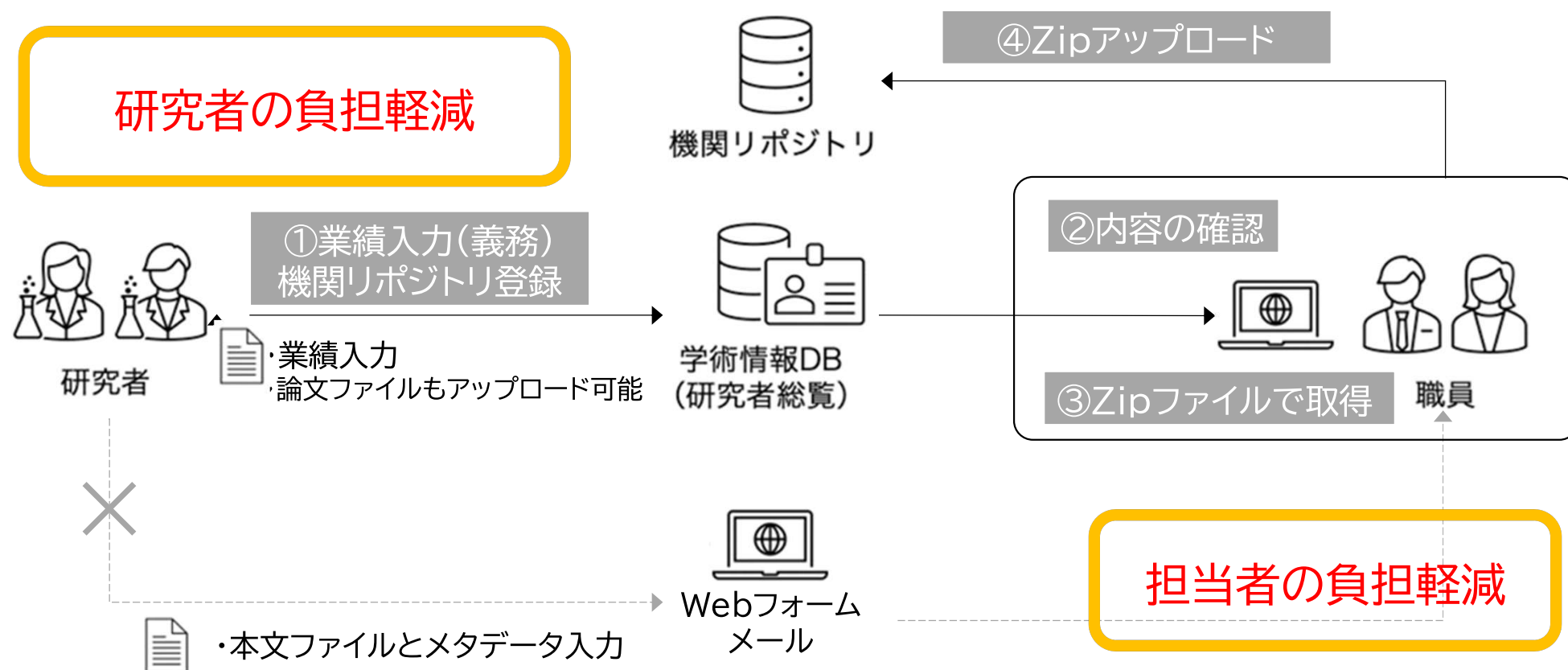
3.研究者総覧の機能追加

研究者総覧の機関リポジトリ連携機能の追加

従来の機関リポジトリ登録

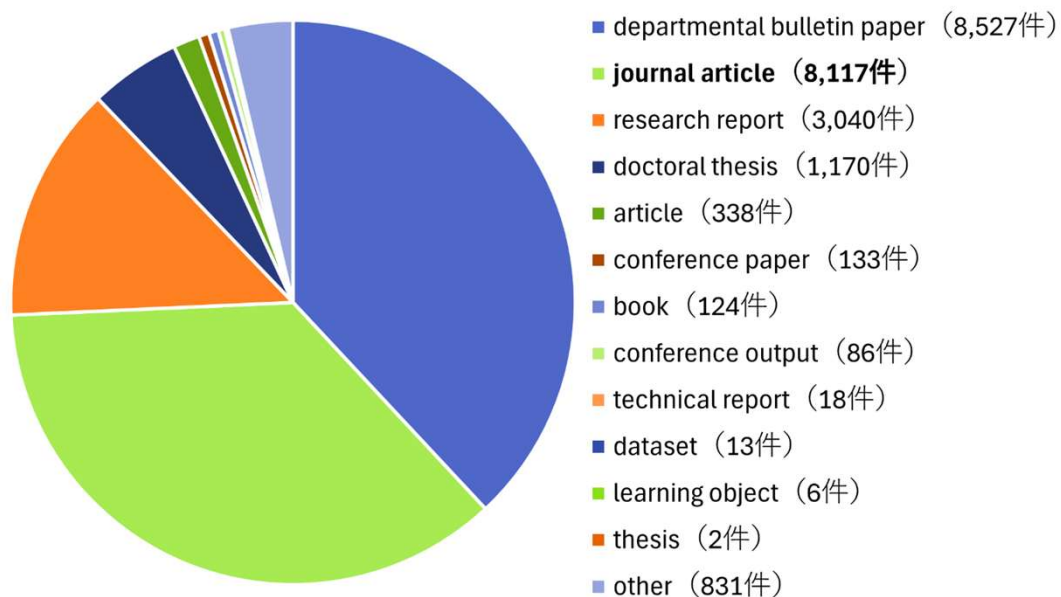


研究者総覧と連携した機関リポジトリ登録



研究者総覧と連携した機関リポジトリ登録

機関リポジトリ登録内訳（2025年3月31日時点）



機関リポジトリ登録数 22,405件

■ 年間登録件数 約560件

- Journal article 約90件
- 機関リポジトリ担当者2名

研究者総覧の機関リポジトリ連携機能追加



登録業務をおこなう担当者を増やす

4. 今後の展望

今後の展望

■ 研究者への周知

- オープンアクセス化に関する情報提供
- 研究者総覧からの機関リポジトリ登録申込方法

■ 機関リポジトリ登録体制の強化

- 登録作業者を機関リポジトリ担当者だけでなく、各学部図書館の担当者も行えるように

ありがとうございました



信大ナナちゃん

信州大学附属図書館
マスコットキャラクター